

第160回茨城県中学校陸上競技記録会要項

1. 主催 (一財) 茨城陸上競技協会
2. 主管 茨城県中学校体育連盟陸上競技専門部
3. 期日 令和4年5月3日(火) ※予備日 5月4日(水) 9:00 競技開始
4. 場所 笠松運動公園陸上競技場 ひたちなか市佐和2197-28 TEL 029-202-0808
5. 種目
男子 共通 100m、200m、400m、800m、1500m、3000m、110mH、4×100mR
走高跳、棒高跳、走幅跳、砲丸投、円盤投(1.5kg) ※円盤投は投てき場で実施
女子 共通 100m、200m、800m、1500m、100mH、4×100mR
走高跳、棒高跳、走幅跳、砲丸投、円盤投(1kg) ※円盤投は投てき場で実施
6. 参加制限 1人1種目のみ(リレー、女子棒高跳、投てき種目は除く)とする。 **(1年生は出場できない。)**
※リレーは1校1チームとする。(学校単独チームのみ)
※砲丸投・円盤投に限り、その中の2種目に出場することができる。
7. 参加資格 (1) 県内に在学する中学校生徒であること。(今年度よりクラブチームでの参加も可とする。)
(2) 2022年度日本陸上競技連盟登録者。
(3) 日本陸上競技連盟及び当陸上競技協会が指定する、新型コロナウイルスについてのガイダンスに沿って事前健康チェックを行い、大会当日に持参し、提出すること。
8. アスリートビブス 各学校・クラブ指定ナンバーとする。
9. 申込方法 (1) 申込期間 令和4年4月5日(火)～4月13日(水) 17:00必着
※申込期間に遅れたもの、書類不備、電話申込は一切受け付けない。
(2) 申込場所
①申込WebサイトURL 『**NANS21V Web登録サービス**(<https://nishi-nans21v.com/>)』
・上記Webサイトから申込を行うこと。
・競技会名は、「第160回茨城県中学校陸上競技記録会」を選択して申込を行うこと。
②一覧表 ※各地区委員長宛に郵送する。
・中央地区 埜口 篤 (ひたちなか市立那珂湊中学校)
・県東地区 佐藤 理 (鉾田市立鉾田南中学校)
・県西地区 沼田 裕和 (八千代町立八千代第一中学校)
・県南地区 池田 亮 (土浦市立土浦第二中学校)
・県北地区 稲橋 哲朗 (日立市立大久保中学校)
※申込ファイル(Excel)の「印刷」シートをプリントアウトして使用する。職印漏れに注意する。
10. 記録 参加者全員に記録証を与える。
11. 参加料 (1) 1種目500円(リレーは1,000円)。
(2) 参加料は、当日現金納入とする。
(3) 参加申込み締切以降、参加料の返金は行わない。
12. その他 (1) 参加各学校・クラブで1名以上の審判員を申込一覧下部の代表者名の欄に記入すること。
(2) アスリートビブスについては、男子は黒書、女子は朱書とする。
アスリートビブスは出場者が用意し、胸背部につける。但し、跳躍競技の競技者は背部または胸部につけるだけでもよい。
(3) 競技用靴については、競技規則(R5.2及び(国内)競技用靴に関する主要規則)を適用する。
(4) スパイクのピンは9mm以内を使用すること。(走高跳は12mm以内)
(5) 参加人数が多数あった際には、下記の競技会開催方法を採用する場合もある。
①予備日と併せて二日間開催とする。
②800m、1500m、3000mについては、補助競技場で実施する。
③走幅跳・砲丸投・円盤投
・全ての競技者は、2回の試技で競技終了とする。
④走高跳・棒高跳
・連続する2回の失敗試技で競技終了とする。
(6) 競技時間表(タイムテーブル)及び競技注意事項については、茨城陸上競技協会HP及び県中体連陸上競技専門部HP【<https://jaaf-ibaraki.com>】に掲載する。
(7) 参加人数によっては、予備日と併せて2日間での開催とする。
(8) プログラムは1部500円で販売する。各学校・クラブは必ず1部購入すること。
(9) ①大会出場承諾書・体調管理チェックシート(大会前/提出用)を県中体連陸上競技専門部HPからダウンロードし、必要事項を入力して大会当日に受付へ提出すること。
※提出のない者は競技会へ参加させることができない。
②体調管理チェックシート(大会後/管理用)を県中体連陸上競技専門部HPからダウンロードし、必要事項を入力して体調管理に努めること。チェック項目にある症状が4日以上続く場合は必ず最寄りの保健所、医師会、診療所等に相談後、所属校・クラブを通して必ず大会主催者に報告すること。
(10) 新型コロナウイルス感染症に係る参加の可否については、(公財)日本陸上競技連盟のガイダンス及び県中体連、各地域中体連の指示等に準じて各校で判断すること。
(11) 感染症等の対策として、レース直前、競技者に検温を求めることがある。感染拡大の可能性がある場合、主催者が出場を認めないことも有り得る。
(12) 競技中に発生した傷害及び疾病の応急処置については主催者側で行うが、以後の責任は負わない。
(13) 新型コロナウイルス感染症の感染状況や(公財)日本陸上競技連盟のガイダンスの更新に当たり、大会要項の変更や競技会の中止の可能性も有り得ることを予めご了承ください。